

ばら通信

2011.12.01発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5
☎018-828-7750 Fax018-828-8185

社会福祉法人グリーンローズ

「ことば」の教室
オリブ園
インクル

12月



12月年の暮れ

オリブ園 施設長 後藤 進

気がつくともう年の暮れ、12月となってしまいました。3月11日から、怒濤のような月日を送ってきたような気がします。それでも、子どもたちは元気に成長続けているのではないのでしょうか。子どもたちのそうしたメッセージは、家族に元気さをくれているのではないのでしょうか。

つい最近、福島の子育て支援センターでの子供たちの体重の増加が、例年に比較して4分の1しか増加していないということが報道されました。外で遊ぶ時間が圧倒的に制約されているためではないか、ということでした。痛ましい限りですが、なんとかしてもらいたいと強く願っています。福島を忘れないでいきたいものです。

毎年、この時期になりますと、就学の問題が出てきます。子どもにとっては、学校に入るという大きいイベントなのに、保護者はなぜ、悩み、不安に思い、苦しまなければならないのでしょうか。私は、これまで、何十年もこうした保護者の苦悩に出会ってきました。他の子どもたちのように、純粋に、みんなと元気にやっていけるだろうか、おともだちができるだろうか、という当り前の悩みに加えて、どの学級にいけばいいのだろうか、どの学校に行けばいいのだろうか、と悩まされます。どうしてでしょうか。保護者の方々、家族の方々、ぜひ考えてもらいたいと思います。

入学の4月まであと少しですが、元気に活動し、元気に楽しみ、元気に入学を迎えてくれることを願っています。

谷口明広先生の講演について

「共に生きる教育を考える」というワークショップを始めて10回目になります。今年は、谷口明広先生に遠く京都からおいで頂きました。お母さんとの経験をふまえ、家族の問題、親子の問題と話を分かりやすく展開し、さらに、その語り口は軽妙で、ユーモアに満ちあふれ、きかれた方々は心打たれたのではないのでしょうか。私が、印象に残ったのは、谷口先生の「障害」ということに対するアイデンティティー(identity)についてです。自分を自分たらしめているものは何かと言う問いかけです。就学の問題でもそれは明確に表現されたと思います。行く先はどのように決めてもいい、しかし、こうしたアイデンティティーをどのように身につけさせるか、考えていってほしいと言うメッセージではなかったかと思えます。これは非常に大事な問題だと思います。

谷口先生は、秋田市に来られた時、秋田駅周辺を探索し、よい居酒屋などを探し求めたとおっしゃっていました。しかし、残念なことに車椅子で気軽に入れるお店がなく、すごく申し訳ない気持ちでいっぱいです。谷口先生は、このように自由で、好奇心が旺盛で、様々なものに挑戦するすばらしい姿勢を持っています。これが、若き日に単身渡米し、パークレーで学ばせた原動力ではないのでしょうか。その後、自立生活概念などを学び、自立生活支援センターの最前線での活躍は、多くの方々の力になっています。

谷口明広先生、ありがとうございました。



オリブ園 施設長 後藤進

「聴覚障害児に関わる関係諸団体による連携協議会」にむけた準備会が開催されました。

平成23年11月28日に「聴覚障害児・者に関わる関係諸団体による連携協議会」に向けた準備会が開催されました。聾学校で行われたこの会の準備会は、この会の理念や、これからの課題、メンバーの選定等を議論して正式に準備会ではなく、協議会として活動していくことになりました。

秋田県聴覚障がい児をもつ親の会からは、具体的な様々な課題を実際に議論し、具体的に解決していくような協議会になってほしいという要望が出されました。

裏面には卒園児の作文がありますよ。



何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail olive@kodomo-sekai.com
ホームページ <http://www.kodomo-sekai.com>

卒園児から

「みんなに知ってほしいこと」

二年竹組 木村こ太ろう

ぼくは生まれつき「なんちょう」と言うしょうがいがあります。びょうきではないので大人になってもなおりません。

ぼくは四才ころまでお話をすることができませんでした。

ほいく園の時は一週間に3回くらい秋田にかよって、ことばのべん強をしました。ほちょうきをつけて聞くれんしゅうもしました。たくさんれんしゅうしても、みんなと同じように聞いたり話したりはできません。

ぼくはみんなと仲よくなりたいです。

そのためにお願いしたいことがあります。

- ①もう一どいってくださいとお願いした時、めんどうだと言わないで教えてほしいです。
- ②後ろから話しをされたり、口をかくして話されたりするとわかりません。そばに来たときは、かたをとんとんたたいて教えてください。
- ③いっぺんに話をされるとわかりません。一人ずつお話してください。
- ④はつ音がわるい時はわらわらないで教えてください。

ぼくがうれしいこと

〇〇くん

休み時間、あそびのルールをていねいに教えてくれてありがとう。

〇〇くん・〇〇くん

「手話をおぼえたい」って言ってくれてありがとう。

竹組のみんなへ

雨がふっているとき。「ほちょうきぬれるよ」って教えてありがとう。

「さっきの話こうだよ」って教えてくれてありがとう。

ぼくは、ほかのクラスのみんなが、竹組のみんなみたいにやさしくしてくれたら、うれしいなと思います。

参考冊子について

「補聴器装用児の療育現場・学校現場での配慮について」 中澤操

学校現場などでの配慮について具体的に書かれていて大変参考になる

「耳の不自由な子どもの理解のために」社会福祉法人グリーンローズ編

補聴器の取り扱いや、コミュニケーションモードについて解説している

